

令和7年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市社会福祉センター
施設の設置目的、役割	福祉関係団体の活動支援、ボランティアの支援、活動室の貸出等を行うことで社会福祉の充実を図る。
施設の所在地	岡崎市美合町五本松 68 番地 12
施設規模	敷地面積：3,709.40 m ² 建物面積：1,990.27 m ²
指定管理者	名 称：社会福祉法人岡崎市社会福祉協議会 所在地：岡崎市美合町五本松 68 番地 12 代表者：会長 太田 俊昭
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

事業の内容としては、保守管理に関する業務（建築物・建築設備・備品等の保守管理）、環境維持管理業務（清掃・環境管理・植栽管理・保安警備・施設保全業務）、運営に関する業務（受付・福祉関係者の資質の向上に資する場の提供に関する業務）、行政財産目的外使用に係る業務及び自動販売機に関する業務等ありその詳細の内容については以下のとおりである。

ア 保守管理に関する業務

仕様書に基づき適切に実施し、機器の交換、修繕については適宜所管課と協議し対応した。令和7年度においては、活動室の扉のレールの交換、消火栓設備の一部改修や、防犯カメラのレンズの交換および記録用ハードディスクの交換を行った。

イ 環境維持管理業務

利用者の現状復帰のための清掃の一部として活動室利用時にアルコール消毒、ペーパータオル式の貸出しを行い、また館内清掃業者に消毒業務を指示するなど衛生管理に注意を払うようにした。施設の景観管理の一つとして、職員が「クリーン活動」と題し、自主的にチームとなって定期的に社会福祉センター周辺のごみ拾いや草取りなどの清掃業務を行っている。その他、シルバー人材センターに委託し、定期的に施設や駐車場の草刈りや樹木の剪定を行うことで、景観整備を行った。

ウ 運営に関する業務

(ア) 当館は施設敷地内の駐車場と敷地外に臨時駐車場を有しており、駐車場が満車である場合には、満車看板の表示だけでなく、職員自らが臨時駐車場へ誘導案内することや臨時駐車場への案内看板を利用者に見やすい場所に判りやすく設置することで施設利用者の利便性を向上させている。また、近隣に市営住宅があり施

設利用者以外の無断駐車を防ぐため、地元総代の協力により防犯カメラによる監視と外国籍の方にも対応した注意看板を設置することに加え、駐車場の定期的な施錠と監視を行っている。

エ 施設の運営に関する業務（提案事業）

(ア) 高齢者や障がい者など移動に困難を抱えている福祉ボランティア等の活動者に対する移動支援として、福祉会館（朝日町）から当センター（美合町）までのタクシー利用の支援を行った。令和7年度においては計86人の利用があった。

(イ) 令和6年4月からの岡崎市社会福祉センター活動室初回無料事業を引き続き実施し、無料キャンペーンの利用は、13団体あり、現状、継続利用された団体が6団体あった。

以上より、公共施設を管理する者として、全職員が意識をしっかりと持ち、今後においても、安心・安全かつ快適で利用しやすい、地域福祉推進する拠点施設としての提供ができるように努めていきたい。

(2) 事業実施に対する自己評価

各種事業の実施にあたっては、基本協定書に基づく岡崎市社会福祉センターの運営に関する業務仕様書、岡崎市社会福祉センターの管理に関する業務仕様書及び施設管理運営業務に関する法令等に沿って、担当職員が対応しており、個人情報の取扱いに注意し、十分な情報管理を実施して、適切に行っている。引続き指定管理者として地域福祉の拠点としてふさわしく、行き届いたサービスを提供し、市民にやさしく親しまれる施設となるよう努力をしていきたい。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

別表「令和7年度岡崎市社会福祉センター利用件数累計表」参照

(2) 利用状況に対する自己評価

令和7年度の利用者数は、35,843人、利用件数は、2,062件、全体の利用率は37.19%であった。令和6年度に比べ利用者数4,418人減（前年比89%）、利用件数28件減（前年比87.9%）、また利用率は5%減と前年度を下回る利用実績で岡崎市社会福祉センター目標チェックシートの定める定量目標である44.00%は達成できなかった。新しいパンフレットを作成し、近隣企業に配るなど、新たな利用者獲得を目指していきたい。

今後についても、ボランティア団体、障がい者団体を始め、企業や各種団体等にも当センターのPRに取り組みつつ、利用率並びに岡崎市社会福祉センターの認知度の向上に努めたい。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額（円）
収 入	指定管理料収入	市町村受託金収入	27,250,678
	利用料金収入	会場利用料収入	1,407,340
	その他収入	受取利息配当金収入	13,184

		自動販売機、売店等に関する収入	67,640
収入 計			28,738,842
支 出	直接管理運営費	直接人件費、光熱水費、消耗器具備品費、修繕費、清掃等委託料、保険料等	30,808,890
	(うち修繕費)	※精算項目	976,910
	(うち光熱水費)	※精算項目	4,838,768
	その他	租税公課	1,551,000
支出 計			32,359,890
差 引			△2,503,512

(2) 収支状況に対する自己評価

今年度の利用料収入は 1,407,340 円（達成率 139.9%）であった。ボランティア団体などには利用料の減免措置などを行っている中で、企業の職員研修などに当センターを利用していただくなど、一定の利用料収入の確保ができた。その他施設に関する収入である自販機収入については 67,640 円（達成率 20.13%）であり、令和 6 年度と比較しても減少しているが、センター利用者への利便性向上と指定管理者としての収入確保の両面で活用できたと思われる。

支出は総額 32,359,890 円となり、このうち光熱水費は電気料金の高騰により 4,838,768 円となった。また、センター修繕については、活動室の扉の改修等があり、976,910 円の執行となった。

どの団体にとっても経費の削減は存続経営していく上で重要課題であるものの、指定管理者として、利用者が安全かつ利用しやすい環境を提供し、利用者の満足度を高めつつ利用率の向上等に繋げたい。そのために経営努力を惜しまず、他管理者にない福祉的な観点持ち行き届いたサービスの提供ができるよう、さらなる努力をしていきたい。

4 利用者アンケート結果

(1) 実施概要

ア 無料キャンペーン利用者に当センターに関するアンケートを実施した

実施期間	回答者数	アンケート実施方法
令和 7 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 2 月 28 日	13	利用前に手渡しにて交付し、利用終了後に回収または、FAX 等にて提出とした。

イ 利用者に当センターに関するアンケートを実施した

実施期間	回答者数	アンケート実施方法
令和 7 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 2 月 28 日	57	回収箱、利用前に手渡しにて交付し、利用終了後に回収または、次回利用時までに提出とした。

(2) アンケート結果概要

- ア 初めて利用された方々から施設環境や職員対応に対して高い満足度が得られた。清掃・トイレ・備品・駐車場など多くの項目で「満足」の回答が多く、センターが快適で利用しやすい施設であることが確認できた。新規利用者の拡大という点では、半数近くの利用者がその後も数回継続して利用しており、ある程度の効果は見られた。
- イ 利用者の皆さまから、施設の利用状況や設備、職員対応に関する多くのご意見をいただき、「おおむね満足している」といった声がある一方で、建物の老朽化への不安、設備改善、利便性向上、交通アクセスに関する課題などのご要望が寄せられた。

(3) アンケート結果に対する自己評価

- ア 支払い方法に対して、窓口現金払いの方法の有無についての問い合わせが、特に企業から複数あった。キャッシュレス決済導入に向けて環境を整備していきたい。
- イ 今年度よりセンター受付を3階から1階へ移転したことに対しての好意的なご意見が多くあり、利用者の利便性を考えた改善の効果が大きいにあった。
- 引き続き、指定管理者に関する要望などへも適宜対応しつつ、利用者の声を反映した施設運営サービスの提供を心がけ、利用者の満足度アップにつなげたい。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

受付時における意見やアンケートでの要望に対して、可能な限り利用者のニーズに応えたサービスが提供できたと考えている。設備の充実など、すぐに対応することが難しい要望についても丁寧に説明し、サービス向上に努めていく。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

大きな苦情はなかったが、細かな要望についても真摯に受け止めて対応し、問題の再発防止に努めた。